

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		紙おむつ購入費助成事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	010602000026
					単独/補助	補助		040501
政策体系		政策体系上の位置付け					所属課	高齢福祉課
総合計画の施策名		0106 高齢者福祉の推進					課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					グループ	高齢福祉グループ
施策名		06 高齢者福祉の推進					担当者名	
手段名		02 ②高齢者福祉サービスの充実						
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計	
	06	05	05	01	01	00	任意事業	
法令根拠		桜川市紙おむつ購入費助成事業実施要綱					単年度繰返し (平成17年度~)	
		【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 要介護3以上の認定を受けている高齢者、要介護3以上と同程度であると市長が認める高齢者、要介護2でかつ認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅲ a以上的高齢者に紙おむつ購入費を助成することにより、家族の負担の軽減や福祉と健康の増進を図ることを目的とする事業である。 ・助成対象品目 紙おむつ、紙パンツ、尿とりパッド ・申請方法 申請書に購入を証明するレシート又は領収書を添付し申請する。 (購入店舗によりポイント等により、購入金額より支払金額が下回った場合は、その金額を助成対象金額とする)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 新規申請者への説明、申請書の受付、助成額の決定、助成金の支払い事務、支給者台帳の作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
新規申請者への説明、申請書の受付、助成額の決定、助成金の支払い事務、支給者台帳の作成	助成件数	件	542.00	525.00	530.00	535.00	540.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
要介護3以上の高齢者 要介護2でかつ認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅲ a以上の高齢者 要介護3以上と同程度であると市長が認める高齢者	在宅受給者数	人	1,092.00	1,130.00	1,150.00	1,170.00	1,190.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
在宅高齢者及び家族介護者の経済的負担の軽減を図る。	助成申請者数	人	180.00	205.00	210.00	215.00	220.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	1,117	0	0	
		県支出金	千円	559	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	665	0	0	
		一般財源	千円	559	3,600	3,944	
		事業費計 (A)	千円	2,900	3,600	3,944	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事 業 費 の 内 訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	19 扶助費	3,600		11 役員費	44	
				19 扶助費	3,900	
			合 計	3,600		合 計

事務事業名	紙おむつ購入費助成事業	事務事業No.	10602000026	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
紙おむつ代を支給することにより、要介護高齢者及び介護する家族の負担を軽減し、福祉と健康の増進を図ることを目的として開始した。合併前は現物支給・現金支給とまちまちであった支給方法を平成19年度より現金支給に統一した。また事務事業の見直しにより、平成21年度から介護保険特別会計（地域支援事業）に組み替えたが、地域支援事業実施要綱の改正により令和3年度より一般会計に変更。併せて、3か月で6,000円であった助成上限額を3か月で9,000円に変更した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
紙おむつを大量に購入する必要があるため、経済的に助かっているとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 在宅の要介護者に対して紙おむつの購入費の一部を助成することは、高齢者福祉の推進に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 要介護者が施設に入所し紙おむつを使用している場合は、介護保険制度において費用の一部の給付が受けられる。在宅の要介護者に対し、紙おむつの購入費の一部を助成して経費の軽減を図り在宅生活を支援することは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 対象者へ個別に通知している他、介護サービス計画を作成する居宅介護支援事業所へも周知を図っており、これ以上の成果向上の余地はない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 対象者の経済的負担が増えてしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 身体障がい者紙おむつ購入助成事業があるが、対象者が異なる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 紙おむつ等の購入額に対して、助成限度額が上限3,000円であるが、事業費の削減は助成限度額の引き下げにつながるため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 支給対象者及び支給基準が定められているため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	要介護認定者の在宅生活を支援する目的で助成を行っているが、高齢化が進み新規該当者が増加しており、同時に在宅から施設入所となる方も増加している。このため、助成対象者数は横ばいである。助成条件について分かりにくい点もあることから、より細やかな周知が必要である。																										
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	向上				維持			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○																								
低下	向上																										
	維持																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																										
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>